

OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第76号

2018年11月10日発行

発行: 放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



国立西洋美術館(次号に関連記事)

目次	フィールドワーク(野外調査)ーその面白さと素晴らしさー 客員教授 持田 幸良	2~3
	平成30年度1学期学位記授与式	4
	平成30年度2学期入学者の集い	5
	面接授業紹介「経営シミュレーション」	5
	第32回神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマ	6
	今年の国際交流クルーズ	6
	ウィーン美の時空を訪ねる旅	7
	神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧	8~ 9
	Kーサポートからのお知らせ	9
	学生サークルからのお知らせ／同窓会だより	10~1
	神奈川学習センターからのお知らせ	12

神奈川(みなとみらい)



フィールドワーク(野外調査)ーその面白さと素晴らしさー

客員教授 持田 幸良

はじめに

大学に入学して間もなく植物社会学という講義を受講し、二、三疑問が湧きましたので宮脇先生の研究室に質問に行きました。いくつか質問をしていると「君は本物の自然を見たことがあるかね」との答えが返ってきて、「今週の土日に調査に行くので付いてきなさい」と言われました。これがフィールドワーク(野外調査)の始まりでした。そのお蔭で横浜国大在学中に日本全国の野外調査に連れて行って頂くことができました。

八甲田山地でのフィールドワーク

横浜国大卒業後は東北大学に進み、青森県八甲田山地にある理学部附属八甲田山植物実験所(名称は当時)に勤めることとなりました。夏季(5月から10月まで)はブナアオモリドマツ自然林に囲まれた実験所で暮らし、積雪量が多い冬季は仙台で過ごす生活を約20年体験しました。実験所での生活は毎日がフィールドワークそのものでした。

朝起きると山(主峰大岳1,564.8mやその他の山々)に出掛け、森や湿原の中を這いずり回り植生調査や立地調査をしていました。大岳山頂には200回以上登頂しましたので、何時、何処で、どんな植物がどんな色の花を咲かせているのかが分かるようになりました。時には調査中に剽軽な動作で岩陰からオコジョが現れ、調査の疲れを癒してくれました。



岩陰から顔をだすオコジョ

海外でのフィールドワーク

1. 熱帯雨林調査

最初の海外調査はインドネシア・カリマンタン島での熱帯雨林調査でした。熱帯雨林は子供の頃に見

たターザン映画に出てくる森と思い込んでいましたが、実際に足を踏み入れると全く違ったものでした。鬱蒼とした森林内部は薄暗く、高木層の樹高は40m以上、太さ(胸高直径)は1m以上もあり、亜高木層以下も樹木が密生し、林床植物(地表面を覆う植生)は殆どが木本類で、草本類は見当たらず、ツル植物もありませんでした。整然としたとても美しい森林で『これが原生林と言うものなのか』と大変感激したことを覚えています。昼間は静かな森も夕方になるとセミが鳴き出し(6時ゼミと命名)、サルが樹上を集団で移動します。ブルーシートを張っただけのテントで一晩過ごしたのですが、真っ暗な中から人魂(ヒトダマ)と思うような明るい球が向かって来たのです。ホタルでした。樹幹に懐中電灯を照らすと40cm位のトカゲ、と見えたものはヤモリでした。森の中は一晩中動物の鳴き声や物音がして賑やかですが、我々も焚火を絶やすことはしませんでした。何故なら豹が襲ってくるかも知れないからとのことでした。

2. 南極昭和基地でのフィールドワーク

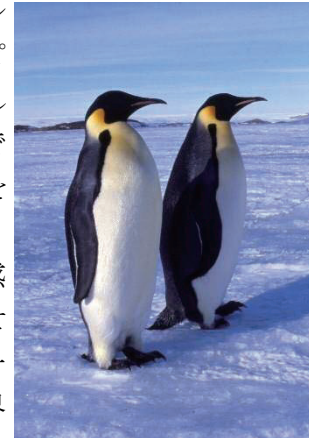
第28次日本南極地域観測隊で「陸上生態系の研究」のため1986年11月～88年3月に生物担当越冬隊員として昭和基地とその周辺でフィールドワークを行いました。南極大陸には森林群落はありませんので、研究対象は露岩域に生育するコケ群落でしたが、身に付けた調査手法でコケ群落とその生育環境の解析を行いました。一方で生物担当隊員はアデリーペンギンの生態を継続的に調査していましたので、私もペンギンセンサスのため、東オングル島(昭和基地)からペンギンルッカリー(集団営巣地)のある島々へ海氷上を雪上車で移動し、観察・調査を続けました。好奇心旺盛なアデリーペンギンは必ず近寄って来て、私を眺めては戻って行きました。日本の南極観測隊では単独の野外行動は厳禁でしたので、必ず2～3名のサポートが随行しました。主に設営担当隊員(基地の管理運営業務:28次昭和基地越冬隊員29名の内15名)でした



昭和基地近郊ラングホブデのアデリーペンギンルッカリー

が、ペンギンセンサスは基地外に出られるのとペンギンやアザラシに会えるので人気が高く、人選するのは容易ではありませんでした。

話は変わりますが、彼らは企業から派遣されて来ているのですが、能力が(技術力、精神力共に)高くまた人間性豊かな人たちでした。彼ら15人が一人一人の役割を果たすことで一つの社会が完成しているのです。残りの我々研究者は専門以外は不得手な人が多く、私を筆頭に雪上車の部品を全て積み込まれてもエンジンを組み立て直し、雪上車を動かすことは不可能です。出来たことと言えば雪上車の運転とエンジンオイルの交換、下駄(キャタピラ)の履き替えぐらいでした。彼らのお蔭で基地では和気藹藹と1年2ヶ月を過ごすことが出来ました。今でも設営隊員への感謝の気持ちは変わりません。八甲田山中での一人暮らしとは全く別世界の体験でした。



基地に現れた皇帝ペンギン

3. マングローブ林でのフィールドワーク

横浜国大に着任後は研究室に留学生が増え、国内でのフィールドワークと並行して海外での調査が多くなりました。その中で最も力を入れ、時間を費やしたのが「地球温暖化に伴う海水準変動によるマングローブ生態系への影響」についてのフィールドワークでした。国内では沖縄県西表島での調査を

続ける一方、太平洋島嶼国や東南アジアなどでフィールドワークに取り組みました。特にミャンマーからは2名の国費留学生を預かり、現地での調査は地元民の支援を受け、便宜を図って頂いたお蔭でミャンマー全域のマングローブ植生を調査することが出来ました。宿泊は営林署出先機関の小屋であったり、船上で凌ぐこともありました。身体を洗う水は天水を溜めたドラム缶(ボーフラが沢山)の水を使ったり、モーケン族(海のジプシー)のテリトリーでは彼らが使う岩から滴る水を使いました。食事も現地のいろいろな野生食を堪能(?)しました。多少身の危険を感じることも(大河で5m超えるイリエワニや小川に簾のようにぶら下がるグリーンズネークなどとの遭遇)もありましたが、今では良い思い出です。



ミャンマー・エヤワディデルタでのマングローブ林調査

おわりに

このように地球を縦廻りし(北緯65°から赤道經由南緯70°まで)熱帯、亜熱帯、温帯、亜寒帯そして極域(南極)の植生を研究対象としてフィールドワークをすることができたことは幸せであり、いろいろな方々のご協力の賜物と感謝しております。

皆様も本物の自然を自分の目で見て体験し、楽しんでみては如何でしょうか。

平成30年度1学期学位記授与式

9月22日、平成30年度1学期の学位記授与式が、神奈川学習センターにて、開催されました。1学期神奈川学習センターの卒業生は、180名。(修了生は無し)このうち、卒業生81名の出席がありました。

式典は、はじめに、福富所長から卒業生ひとりひとりに学位記が手渡され、それに続いて、式辞があり、情報革命の進展、変化の大きい現代社会のことにふれ「アメリカでは、卒業式のことを、コメンセメント(Commencement)と言い、本来の意味は『出発・始まり』。今日を出発の日として、学習を続けて自らを高めてほしい」と話されました。

続いて、来賓の佐栞神奈川同窓会長の祝辞。客員の先生方からお祝いの言葉がありました。そして、1学期で放送大学の全専攻を卒業された疋田勝三郎さんの紹介と所長表彰が行われ、式終了後は、記念写真撮影と同窓会主催による、茶話会が開催されました。



成績優秀者の渡辺恵子さんと、最高齢卒業者の今井慶子さんが、所長表彰を受けられました。渡辺恵子さんからは、ご寄稿頂きましたので、全文を掲載いたします。

私が放送大学に入学した時は、基礎学力が全く出来ていなかった為、本当に大変でした。

物事をしっかり考えるには、ツールとして一定量の知識が必要なのだと分かったのは入学した後のことでした。

初めて通信指導のレポートを書いたのは、ギリシア史で「アテネとスパルタの政治体制について」です。

何をどのように書けば良いのか参考資料の探し方も分からなくて、ただただ紙面を埋めて提出したところ、伊藤貞夫先生の丁寧なご注意が記されて返却されました。

当時伊藤先生はギリシア古代史の第一人者でいらして私などには雲の上の存在です。そのような立派な先生の文章を読んで、ありがたいやら申し訳ないやら身の竦む思いを致しました。

その後も多くの先生方からレポートの不足している所、見方が曖昧な所など指摘を受け気持ちが落ち込むこともありましたが、誉めて戴けるところがあると嬉しくて、少しずつ大学の勉強の仕方がわかるようになって参りました。

本日の卒業生の多くは大学卒の資格を取って社会で活躍の場を広げていく方々だと思います。

私はこれといった目的も持たず、これをやろうという主題も持たず、その時の家庭の状況をみて、受講できる科目を探してやって来ただけで、皆さんと比べ恥ずかしい限りです。

もっと若いうちから学び始めていれば良かったのかもしれない。

今は是迄得た知識をまとめていく方向で学び直そうと思っています。私のような拙い学生に真剣に向きあってお教え下さった先生方、又、学生が気持ちよく勉強できるよう環境を整えて下さった事務の方々お掃除の方に御礼申し上げます。

渡辺恵子



平成30年度2学期入学者の集い

10月7日神奈川学習センターにて、平成30年度2学期「入学者の集い」が開催されました。神奈川学習センターの入学者は、学部生1,033名(暫定)。このうち会場には、学部生153名、院生7名が集いました。

福富所長の式辞では、放送大には、標準的なカリキュラムがなく、一人一人が、自分専用のカリキュラムを組み立ててゆく必要がある。孤独な思いをすることもあると思うけれど、そんなときは、学歌一節「いつでもどこでも見えない」と



共に生きともに学ぶ」を思い出してほしい。そして、学習センターに来ると、仲間がいるし、サークル活動などがある。そして、ノーベル賞に輝いた本庶佑教授の座右の銘「有志竟成(ゆうしきょうせい)」～強い志を持てば目的は必ず達成できる～で締めくくられました。式辞に続き、来賓の佐栞同窓会長の祝辞、客員教授の先生方からお祝いの言葉があり、合唱団の学歌斉唱で式典は締めくくられました。



面接授業紹介「経営シミュレーション」(白井宏明客員教授)～ゲームで身につく経営感覚～

1. 授業の概要

この面接授業では、コンピュータ上に構築された仮想的なマーケットの中で、学生が企業の経営者として競争し、商品の生産や仕入れ、販売等を行います。このような企業経営を模擬体験することで、企業経営の理解を深め、PDC A(Plan-Do-Check-Act)サイクルに基づいたマネジメントの体験、経営状況の分析や経営意思決定などを行なうことができるようになっています。

もう一つ、この授業の魅力は講義だけではないこと。一方通行の学習ではなく、学生自身がコンピュータを活用し、自ら考え、行動することが出来る「参加型の授業」です。

授業ではExcelを使用して簡単な表計算やグラフを作成するため、一定のパソコンスキルが必要となりますが、高いスキルが必要というものでもありません。

2. 受講された学生さんの声

面白かったです。経営をする上で必要となる商品の価格設定、販売個数、仕入れ個数、在庫管理などをうまく設定して自社の目標を達成してゆくことを、PC上の専用ゲームを通して疑似体験します。他受講者である競合の動向を予想しながら自社の各項目の数字を決定してゆき、競合と結果を競います。一つのゲームが終了するとその都度、参加者全体の推移や動向を振り返りながら解説、アドバイスの時間を設けられます。段階的に内容をレベルアップさせながら徐々に頭を使う部分を増やしてゆきます。

3. 講師からのコメント

将来、起業をめざしている方にお勧めです。レストラン、ベーカリー、ケーキ屋、カフェなど、美味しいだけでは、うまく経営できません。お店を長く続けるための損益の考え方や、顧客満足を得るためのマーケティング思考、販売と生産のマッチングなど、経営の基本を学んでください。

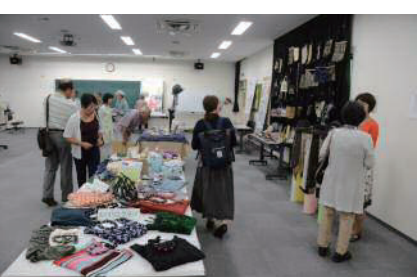
また、単にお金儲けをすることが企業の目的ではありません。利益を出すことは目的ではなく、企業が存続するための条件であると、経営学者のドラッカーが言っています。必要な利益は確保しながらも、本業を通じて社会に貢献することが重要です。その精神も学んで欲しいところです。

放送大学の学生さんは、社会経験豊富な方が多く、常識も身に付けておられます。しかし、まじめすぎて常識にとらわれすぎると、自身の経験だけで判断することになり、経営にマイナスの影響を及ぼすこともないとは言えません。この授業では、いったん、これまでの常識は忘れて、イメージーションを大いに働かせて、シミュレーションの世界を楽しんでみましょう。現実の世界ではできない失敗を体験できることも、シミュレーションの魅力の一つです。





**第32回神奈川学習センター学園祭
フェスタ・ヨコハマ
9/1～9/2**
来生新学長の記念講演、交歓親睦
パーティー、模擬店、お茶席、大岡
寄席、サークル展示ほか



今年の国際交流クルーズ

佐竹 信一

去る8月21日(火)、3年ぶりに神奈川学習センター恒例の国際交流クルーズが開催されました。この企画は今回で5回目を数えますが、この日も快晴にめぐまれ、横浜港クルーズと埠頭施設見学ツアーを楽しみました。アルゼンチン6、パラグアイ2、ペルー1、フィリピン4、韓国2、中国1、米国1とスペイン語圏が多い17名の外国人の方々日本人40名を乗せたマリニャトルは午後1時半山下公園の桟橋を離れました。一般の乗船客と一緒に、放送大学の法被を着た福富所長の船内ホールでの開会挨拶は短めになりましたが、さっそく各所で小グループの交流が始まりました。ベイブリッジを見ながらビール片手に日本人同士の交流も盛んでした。つばさ橋をくぐり、大黒ふ頭を左に見れば1時間のクルーズも終了です。これに続くバスツアーは定員50名でしたが、ほぼ満席と



なりました。ツアー中の説明から、今の貨物はほとんどがコンテナ輸送になったことのほか、主要な輸出入品目、荷役の実際、新埠頭計画などを知りました。船に入出港の合図を送るシンボルタワーの見学を最後に2時間のツアーは桜木町駅で終了です。多くの外国人参加者とはここでお別れでしたが、所長の教え子2名の韓国の方を含めた20名近くの有志は近くのJICAビルのカフェで懇親会を開き、大いに盛り上がりました。実行主体である国際交流グループとしての反省は事前準備の詰めが少し甘かったこと、施設見学ツアーを入れたため人数制限が生じて規模を大きくできなかったこと、外国人参加者の勧誘にもっと工夫が必要なことなどの点でしょうか。ともあれ天候にも恵まれ、今回も成功裏に終わったことはなによりでした。



ウィーン美の時空を訪ねる旅

茂木ゼミ 馬場 信一



茂木先生の面接授業を受講して「ヨーロッパの音楽の歴史を辿りながら、僕らが歌える曲があれば歌ってみたい」との思いに至り、お願いしたことから始まったのが「茂木ゼミ」でした。練習用に選曲された曲はシューベルトのドイツ・ミサ曲、初体験の教会音楽に戸惑いながらも練習を続けること約1年の後に、とても美しくウィーンで最も歴史のある教会の一つで歌う機会を作ってくださいました。

それはシューベルトが作曲や演奏活動で生涯を送りモーツァルトが後半生を送った町、ウィーンのペーターズ教会で歌うという旅になりました。

参加された方々は、主に放送大学の神奈川SC、埼玉SC、文京SCに加えて早稲田大学で学ばれている皆さんなどで、これに同道される数名の方々も含め全体で50名近くの団体になりました。

ウィーンのペーターズ教会で歌う曲は、まずシューベルトの《ドイツ・ミサ曲》で、これは以下の9曲からなります。

- Nr.1 Zum Eingang 入祭の歌
 - Nr.2 Zum Gloria 栄光の賛歌
 - Nr.3 Zum Evangelium 福音朗読と信仰宣言
 - Nr.4 Zum Offertorium 奉納の歌
 - Nr.5 Zum Sanctus 感謝の賛歌
 - Nr.6 Nach der Wandlung 聖変化後の歌
 - Nr.7 Zum Agnus Dei 平和の賛歌
 - Nr.8 Zum Schlußgesang 閉祭の歌
- Das Gebet des Herrn
それにモーツァルトの以下の曲も歌います。
Ave verum corpus

これらの宗教音楽は、ヨーロッパで生活している人々たちにとっては身近な曲と思われそうですが、僕には難しい存在でした。

歌う前から、ミサとは何か、ミサの歴史と音楽、ミサのかたち、ミサの式次第や言葉の祭儀など私の生活には馴染んでいない言葉ばかりで理解が進むまでには時間がかかると感じていました。

その上、ドイツ語で歌うのはかなり難しいと思っていましたが、先生の熱意に感動しつつ、初心者にも親

切な指導に導かれて行きました。常に、暗譜、暗譜！と厳しい言葉の中に「教会のドームから降るような響きを感じてもらいたい」という先生の心に感動し発声も音程もイマイチでしたが続けることができました。

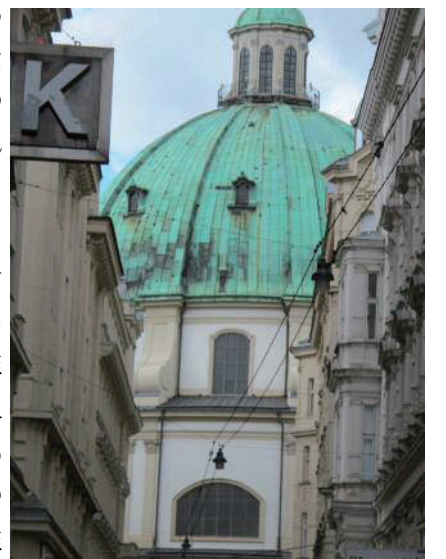
先生には大変なご心労をお掛けしたこととおっております。

それでも、ウィーン行の計画が案内された頃から、練習も月2回から週2回の特訓となり、神奈川と埼玉の両学習センターで交互に行う合同練習が続くなかで少しずつ声を出せるようになっていったと感じております。

旅は、ウィーンのペーターズ教会の祭壇前で歌うミサ曲に導かれたと感じております。

小雨のなか教会の尖塔は霧に煙っていたように見え、その大きさに圧倒され、緊張しながら大きな重いドアを開けた感触が、今も手に残っています。教会の祭壇前に立ちリハーサルが始まりました。

発声の都度、ドームから音が降り注いでくるような響きによって、まるで天空から星屑が私達の身体に降り注いでくるような感覚にとらわれ、先生のタクトに導かれていきました。



ペーターズ教会を望む

初めてのミサ曲の歌唱が出来るか、これまで努力してきた演奏が出来るか、本番前の緊張感が高まるのを感じなが

らミサ曲の合唱が始まりました。

これから先は、先生のお言葉をお借りします。
「ウィーン・ペータース教会での歌唱とそれを目指しての努力は、決して巧みに演奏することを最終目的にしたものではありません。技術的には拙くても、それを音楽への、シューベルトやモーツァルトの藝術への熱意と努力で乗り越え、現時点で望みうる『最良の音楽体験—新たな音楽体験』をして頂き、それを糧として、これからの人生を豊かにして頂くためのものです」との言葉に胸を詰まらせながらも、一歩前に出られたように感じています。

それがわずかでも前に出られたなら、今回の音楽体験の旅は、シューベルトの心の旅と重なるような「時空を超えた旅」として、最良の音楽体験となりました。

ペータース教会の響きは、今も私の心に響き続け、終生忘れ得ないものになっていると思っています。



ウィーンのペータース教会祭壇前にて合唱

平成30年度 神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

●神奈川学習センター客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
有馬 眞	地球科学ゼミ	神奈川県には、箱根火山、丹沢山地、三浦半島など、変化に富んだ地形と多様な地質で構成される多くの地域があります。地球科学ゼミは月1回(原則第3水曜日)、これらの地形・地質を対象に野外見学会(巡検)を開催しております。初めての方々も参加できるやさしい内容とていねいな解説の見学会を開催するよう努めています。	原則 月1回	4/24、5/29、6/26、7/18、 9/21、10/17、11/21、 12/12	arima@ynu.ac.jp	所外有
上川 孝夫	上川ゼミ	金融や国際金融を中心に、世界経済や経済学について学びます。一見難しそうな学問ですが、外国為替やマーケットの話など、基礎から学びます。ドルや欧州単一通貨ユーロ、円や人民元など、話題性の高いテーマについても取り上げます。また、日本銀行や東京証券取引所の見学なども予定しています。	原則 第3土曜日	4/21、5/19、6/16、7/21、 8/25、9/15、10/3、11/17、 12/15	kamikawa@ynu.ac.jp	所外有
杉田 正樹	哲学カフェ	「哲学カフェ」をやっています。参加者からその都度問題を出してもらい、それらについてみんなで議論するというものです。調べれば分かるような問題や、専門的な問題ではなく、身近なところで日頃不思議だと思っていることを論じます。人の話をよく聴くこと、よく考えることが条件です。黙っていることももちろんOKです。	原則 第4土曜日	4/28、5/27、7/1、8/25、 9/29、10/27	msugita@kanto- gakuin.ac.jp	
角 洋一	角ゼミ	角ゼミでは、小職の担当面接授業「構造物の強度と安全性」にも関係するテーマとして、明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を読むことを企画しました。彼の随筆で取り上げられる力学と自然災害、大学と教育などのテーマは、現代に生きる我々も熟考すべき普遍的課題でしょう。【テーマ】寺田寅彦の随筆を読む ー自然現象と災害、海の自然、科学と人間そして社会ー	原則月1回 木曜日	4/12、5/17、6/14、7/12、 8/9、9/13、10/18、11/15、 12/6	sumi@ynu.ac.jp	所外有
高橋 邦年	英語基礎ゼミ ナール	これまで英語を習ったことがなかった、習ったけどほとんど覚えていないという学生さんいらっしゃいます。そういう学生さんを支援しながら「やさしい英文法」を勉強したいと思います。	原則月1回 土曜日	4/28、5/26、6/16、7/14、 8/25、9/15、10/13、11/17	takahak18@gmail.com	
種田 保穂	種田ゼミ	動物学に関する様々な面白い話を紹介しています。そのほか不定期に探鳥会や、磯の動物の観察会を行っています。博物館、水族館、動物園などにも出かけて行きたいと思います。また、年に一回は合宿のゼミを行いたいと思います。	原則 月1回	4/17、6/19、7/18、9/19	taneda-yasuho-pj @ynu.ac.jp	
茂木 一衛	茂木ゼミ	ヨーロッパのクラシック音楽の歴史を辿り、その時代に生きた作曲家の音楽作品を器楽と声楽のアンサンブルで演奏し、また鑑賞し学んでいきます。歌と楽器でのユニークな編成で楽しみます。自分のできるパート、やってみたいパートを自由に選んでご参加ください。 ・練習・鑑賞曲 バッハ、モーツァルト、シューベルトなどの名作から	原則 月2回	4/13、4/15、5/11、5/25、 6/29、7/8、7/20、8/10、 8/28、9/9、9/19	kmoteki@nifty.com	

●本部客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
遠山 紘司	遠山ゼミ	ものごとをまとめる力、発表する力そして討論する力を身に付けることを目的としたゼミです。ゼミ担当者は自分が興味ある問題を探し、解決するまでの過程を考えて発表します。その後、全員で問題の捉え方、解決策について討論します。ゼミの担当は1年に1回程度です。	原則月1回 (第3又は第4 木曜日)	4/19、8/23	kmymt@olive.ocn.ne.jp	

●元客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
浅野 幸弘	浅野ゼミ	経済・金融・証券の分野で興味深くかつ重要と思われる本を取り上げて輪読します。毎回担当者が本の内容をまとめて報告、質問などがあれば教員が補足説明し、その後、報告をベースに参加者全員で議論します。2018年度前期は「ブリニオルフソン・マカフィー(村井章子訳)『ザ・セカンド・マシン・エイジ』を使います。	原則 第2木曜日	4/12、5/10、6/14、7/19、 8/9、9/13	asano-yukihito- rc@ynu.ac.jp	
影井 清一郎	科学の散歩道 研究会	身近な物理・生命・社会等の現象を数学・物理学・工学(コンピューター)の切口で自由闊達に議論し、結果を踏まえて自らの学びに取り入れられます。9月からは放送大学の物理・化学系科目が難しく感じられた方へ「量子論に至る道しるべ」と題して、高校数学の復習から始め、量子論を理解するための道しるべを始めます。奮ってご参加ください。	原則月1回 (第3又は第4 木曜日)	4/21、5/19	kagei@ynu.ac.jp	
藤原 一繪	植生研究会	主な活動は観察会と報告会です。観察会では、植物や植生の見分け方、特徴の解説、植物に関する指導などを受けられ、自身で疑問を持つこと、考える力をつけてゆきます。また、観察会のまとめを年に1度は発表し、まとめと発表の力をつけます。教養学部「自然と環境コース」の植物・植生や環境に関する科目に興味がある方や、卒業研究を目指す方にお勧めです。	原則 第2木曜日	4/12、5/17、6/14、7/12、 9/13	syokusei@yakatsu.org	所外有

●元放送大学教員開講研究会

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
柏倉 康夫	三無会	「三無会」は放送大学情報学の修士修了生を中心に、現在の情報のありかたや、コミュニケーションの現状を研究する会です。年1回機関誌(審査付き)を発刊。投稿を受け付けています。また、「放送大学情報化社会研究会会報」を年4回、会のMLにて送信(ホームページで一般公開)しています。6月に総会・研究発表を開催。	不定期開催	6/30	miyako.f71417@jcom.zaq. ne.jp	

●神奈川学習センター開講研究会

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
田口 一博	放送大学ガバナ ンス研究会	政治学の天川晃ゼミを母体が発足し、会員約百人。毎月の研究会では会員の研究報告と原書購読(現在 Lane "State Management" 稲継裕昭 訳)のほか研究者をお招きして報告会を行っています。	原則 第3土曜日	4/21、5/19、6/16、7/21	jkaz@nifty.com	

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

平成30年度2学期の学習相談は、**12月16日**までの**土曜日と日曜日**、午後**1時から午後3時50分**の間、**2階談話室の相談コーナー**で行う予定です。
予約は不要です。 放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

○パソコンサポートチーム

パソコン初心者塾
・11月24日(土)13:00～15:30 「通信指導の提出」
・12月4日(火)13:00～15:30 「Word&Excel簡単入門」
・2月17日(日)13:00～15:30 「科目登録の提出」
※参加・サポートを受けるには、申し込みが必要です。学習センター1階ロビーKーサポート掲示板下に、用紙とポストがありますので、ご利用ください。上記日程(定期塾)のほか、日程を調整して個別対応(不定期塾)もいたします。(定期塾受講のときにご相談ください。)

学生サークルからのお知らせ

○スペイン語研究会

★学習日：月二回 原則第1、3木曜日(14:00～16:00) 会費：新入会 3カ月分一括、一回500円
①講師による日常会話習得 CD・DVDを利用したヒアリング。②会員/ゲストスピーカーによるスペイン語圏歴史・文化に関する研究発表及び講演。実績；マチュピチュと南米、スペイン・サンチャゴ・デ・コンポステーラ、ブラジル・イグアスの滝他コロンビア、ベネズエラ、グアテマラ、アルゼンチン、メキシコ。スペイン研修旅行も計画中。
★連絡先：会長・講師 肥後 照雄（電話：080-2049-3523 メールアドレス：t_higo@cb3.so-net.ne.jp）

○放たかながわレク・サークル

★サークル活動：放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」
★例会：2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)
★ウォーキング：2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。
★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。
上記の各種活動はいずれも自由参加。
—会員募集中(随時申込・受付)—
問合せ：島田 義治 Tel 090-3907-8384
E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○中国語学習会

学習日：原則 第1、第3日曜日
(詳しくは学生掲示板ポスター)
①10:00-12:00 中級クラス：文法、表現力向上、自由会話 講師：告旭平先生
②13:00-15:00 入門、初級クラス：発音基礎から簡単な表現を習得 講師：李春霞先生
参加はどの時間帯でも可能です。
③会費：1ヶ月2000円3ヶ月分前納。
④学習以外の活動：ハイキング、中国映画鑑賞、研修旅行など。会員相互の親睦を深める企画多々あり。
⑤問い合わせ：080-3552-2497 和田、
E-mail:snuf.708w@ezweb.ne.jp

○人間学研究会

☆毎月の例会で会員が卒業研究、旅行経験等を発表
例会予定：神奈川学習センター 於
・12月9日(日)13:00～「NHK番組『幻の外務省報告書～中国人強制連行の記録～』より戦争を考える」例会後、忘年会を行います。
・1月6日(日)「サンチャゴ・デ・コンポステーラ巡礼」
☆会誌「せせらぎ」29号を発行
☆散策・植物園美術館巡り等の行事、懇親会
会員募集中
お問合わせ：
小林鋭子 E-mail: d52n66su_yoof@ybb.ne.jp
佐藤義春 E-mail: yoshi.l.chie@yd6.so-net.ne.jp

○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。
☆例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等は変更があります。)
＊Benny Class(3クラス) 10:15～12:30
＊English songs 13:15～13:30
＊Group study 13:30～15:30
☆そのほか、うえるかむ名画座、ゲスト講演会などを開催しています。
問い合わせ 片野眞明 090-4714-8260

○ダンスサークル(社交ダンス)

場所：神奈川学習センター第7講義室
曜日：第2・第4火曜日 ＊第1・第3火曜日自主練習
時間：午後2時～4時 講師：菊島弘明・ユリ子
会費：1か月 1500円
活動内容：社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)
ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)
また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。
連絡先：中村 健 tarumakan0904n@gmail.com

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し160余名の会員がいるサークルです。
☆学びの場の活動
○PC勉強会：11月20日(火)神奈川学習センター実習室
☆触れ合いの場の活動
○11月旅に行こう会11月14日(水)世界遺産「富士」周遊の旅
○忘年会 12月16日(日)パセラルゾーツ関内店
☆毎月の活動
○俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会、音楽部
詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>
入会申込・問合せ：
吉岡 淳 info@kanagawa-hoyukai.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。各種資格(心理系含む)の取得と放送大卒業を目的とする方が多い。内容は、情報交換が中心。例会予定は次の通り
・11月17日(土)10:00～ 学生団体室
・12月22日(土)16:00～(予定 会場未定)
・1月12日(土)10:00～(予定 会場未定)
会費：¥500(1年間)
ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>
お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

○韓国語同好会

★月例会予定日 土曜日
11/10、24 12/1、22 1/5
① 10:00～11:30 初級クラス
② 11:30～12:00 ミーティング(全員)
③ 12:00～13:30 中級クラス
④ 13:45～14:45 自主学習 短編小説読書(「昔話で学ぶ韓国語」)
★講師 李 明淑(イ・ミョンスク)先生
★初めて韓国語を始める方へのサポートを強化しました。
★入会随時、見学大歓迎です。
★会費 1ヶ月2,000円 3か月前納
★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページから。 <http://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/>
tsuyukimt@gmail.com(代表：露木)

○神奈川合唱団

♪♪音楽体験を通して大学生活を豊かにする合唱を楽しんでいます。 ♪♪♪
◇合唱団は、学校の行事に参加しています。
・入学者の集い(4月、10月)
・卒業者の集い(3月16日)
・学位記授与式(NHKホール)(3月23日)
・フェスタ・ヨコハマ(9月)
・卒業者の集い(3/16)、
・学位記授与式(NHKホール)(3月23日)
◇東北・北海道災害支援チャリティ・コンサートに参加します。(久我山教会11/17)
◇練習曲：☆学歌、☆いのちの歌、☆大地讃頌
☆群青、☆My Way
☆場所：大岡地区センター 音楽室2F
☆日時：毎月第1・第3水曜日18:00～20:30
☆入会申込み・見学・問合せ先
馬場信一
shinichi-36820-baba@extra.ocn.ne.jp

神奈川同窓会だより

神奈川同窓会は、放送大学に学んだ「誇り」を共有し「母校意識」をもって大学のために、また、「プランインターナショナルジャパン」や「あしなが育英会」を通じて寄付金を集めるなど、社会貢献活動を進めています。毎月行う「弘明寺サロン」や「卒業・修了祝賀茶話会」、フェスタでの「お抹茶」と「ホームカミングデー」の開催しています。

ウェブサイト：<http://hatoh.net/>
「波涛ネット」または「放送大学神奈川同窓会」で検索ください。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、筈崎、三国(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)
垣谷(Kーサポート事務局)
荒川(学習センター事務室)

神奈川学習センターからのお知らせ

● 通信指導の提出期限を忘れずに！

通信指導の提出期限が迫っています。未提出あるいは提出期限内に到着しない場合は評価対象とならず、単位認定試験を受験できませんので必ず提出してください。

【提出期限(郵便)】 2018年11月30日(金)までに**大学本部必着**。

【提出期限(Web通信指導)】 2018年11月30日(金)17時まで。

● 客員教授による公開講演会を開催します

【講 師】 有馬 眞 先生

【テーマ】 鉱物が語る地球の履歴書:ダイヤモンドとジルコンの不思議

【日 時】 11月11日(日) 13時～15時



※ 参加希望の方は神奈川学習センター事務室(TEL:045-710-1910)までお申し込みください。

● 面接授業科目の追加登録受付について

【追加登録期間】 10月24日(水)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日※

【受付方法】 神奈川学習センターの開設科目について窓口までお越しください。

【必要書類等】 ①面接授業科目追加登録申請書、②学生証(有効期限内)、③授業料(1科目 5,500円)

※ 原則として開講日の1週間前です。ただし、授業準備の都合上、追加登録を受付けない科目、または1週間前まで受付られない科目がありますのでご了承ください。

● 単位認定試験・試験会場の変更届は11/23まで

単位認定試験は、登録した受験センターにおいて受験します。登録した受験センター以外で受験を希望する場合は、システムWAKABAで変更手続き、または「単位認定試験受験センター変更願」を大学本部(学生課 単位認定試験係)へ11月23日(金)までに必着で郵送してください。

①システムWAKABAでの変更手続

【受付期間】(第2学期) 11月30日(金)24時まで

②「単位認定試験受験センター変更願」(「学生生活の栞 巻末様式11」)を提出

【受付期間】(第2学期) 11月23日(金)郵送必着

お問い合わせ: 放送大学神奈川学習センター

電話045(710)1910(月曜日・祝日等を除く、9時10分～17時40分)